



図書館だより



問市民図書館 ☎23-7808

夏の風物詩といえば、皆さんは何を思い浮かべますか。海水浴や花火、スイカなど、「これぞ夏！」を感じるものも良いですが、少し趣向を変えて、背筋がゾクッとするような「こわい話」はいかがでしょう。読むか読まないかはあなた次第。図書館では暑さを吹き飛ばす「こわい話」をご用意してお待ちしています。

城郭の怪異



三弥井書店
二本松 康弘、中根 千絵 編著
会津若松城、駿府城、伏見城、姫路城など、不思議な怪談や奇譚を伝える東西10の城を歴史学と伝承学から見渡し、怪異の生成や伝承の背景を紹介。歴史の裏に埋もれた城にまつわる「闇」の魅力を明らかにする。

3分後にゾクとする話 悪夢の棲み家



理論社
野宮 麻未、怖い話研究会 著 マニアニ 絵
あなたが安心してしまっているその場所、本当に安全…？ 駅や交差点、風呂、トイレ、電車など、普段何気なく使っている場所の怖い話を網羅した、1話読み切りのホラー版ショートショート。

怖くて眠れなくなる元素



PHPエディターズ・グループ
左巻 健男 著
知れば知るほど怖くなる「元素」のはなし。毒性・致死性のある元素や爆発性のある元素はもちろん、公害問題にかかわる元素も紹介し、未来に同じような不幸な問題が起こらないように警鐘を鳴らす。

意味がわかるとゾクとする怖い図書館



新星出版社
緑川 聖司 作
学校でいじめられている私は、お金を奪われたり、暴力を受けたりしていたが、誰にも相談できずにいた。そんな時、司書の先生が1冊の本を渡してくれて…。「呪いの本」など、意味が分かったらゾクとする短い話を多数収録。

あきさめものがたり 秋雨物語



KADOKAWA
貴志 祐介 著
秋雨の降る日には触れてはいけない世界の歪みが姿を現す…。奇妙な宿命を背負った男が語る「餓鬼の田」をはじめ、作家が体験した超常現象の記録「フーグ」など、全4編を収録。現代ホラーの第一人者が贈る暗黒奇譚集。

いるのいないの



岩崎書店
京極 夏彦 作 町田 尚子 絵 東雅夫 編
おばあさんの古い家で暮らすことになった「ぼく」。ある日、家の梁の上の暗がりを見ていた「ぼく」は、じっと下を見ている男の顔を見つけた。こわくなった「ぼく」は、おばあさんに聞いてみるのだけど…。

❖土・日曜日に「よみきかせ」を行っています

開催時間

曜日	土曜日					日曜日
	第1	第2	第3	第4	第5	
10:30	●	●	●	●	●	
11:00						●
14:00				●		
14:30	●					

ところ 市民図書館 多目的研修室

内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居の上演など (各回30分程度)

※事前の申し込みは不要です。

❖毎月第4日曜日は「十和田市家庭読書の日」

市民図書館では、家庭読書にお薦めする本のコーナーを設置しています。毎月第4日曜日は、テレビやゲーム、インターネットをちょっとお休みして、家族で読書を楽しんでみませんか。

- 各コミュニティセンターでも、新しい本を用意していますので、気軽にご利用ください。
- 市民図書館では、法令や判例、法関連の文献情報などを検索できるデータベースが利用できます。詳しくはお問い合わせください。